

方策1 社会資本の整備と維持管理の担い手の確保・育成

10年後に目指すぐんまの姿

- ✓ 建設産業が持続的に発展します。
- ✓ 社会資本の整備や維持管理体制と災害時に迅速な対応ができる体制を維持します。

10年後の姿の実現に向けた施策

社会資本の整備と維持管理の担い手であるとともに、地域の安全・安心の守り手として欠くことができない建設産業の健全な発展に向け、働き方改革や現場の生産性の向上、さらには魅力の発信に取り組み、担い手の安定的かつ持続的な確保・育成を支援します。

方策1-1

建設産業の働き方改革

- 長時間労働の是正や処遇改善に取り組みます。

建設産業を魅力あるものにし、将来の担い手となる若手技術者等を確保するため、週休2日や建設キャリアアップシステムの促進など、建設産業の働き方改革に取り組みます。

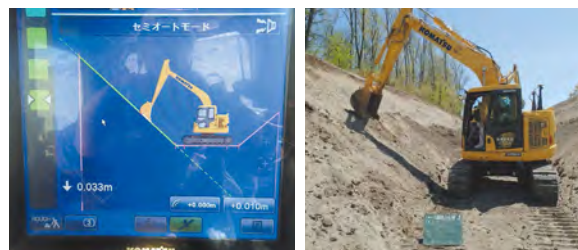


方策1-2

建設現場の生産性向上

- 建設現場におけるICT技術の活用を促進します。

建設現場の生産性向上を図るため、「ICT活用工事」や「建設現場のWeb監督」の導入を促進するとともに、CIMの導入に向けた取組を進めます。



方策1-3

建設産業の魅力の発信

- 効果的な広報を展開するとともに、技術者の活躍・定着を支援します。

建設産業の魅力ややりがいを伝えるため、世代や対象者に応じた効果的な広報を展開するとともに、若手技術者がやりがいを実感し、活躍・定着するための支援策に取り組みます。



指標

災害時に迅速かつ機動的に対応可能な建設業者数

287業者(R6末) ▶ 287業者の維持(R16末)

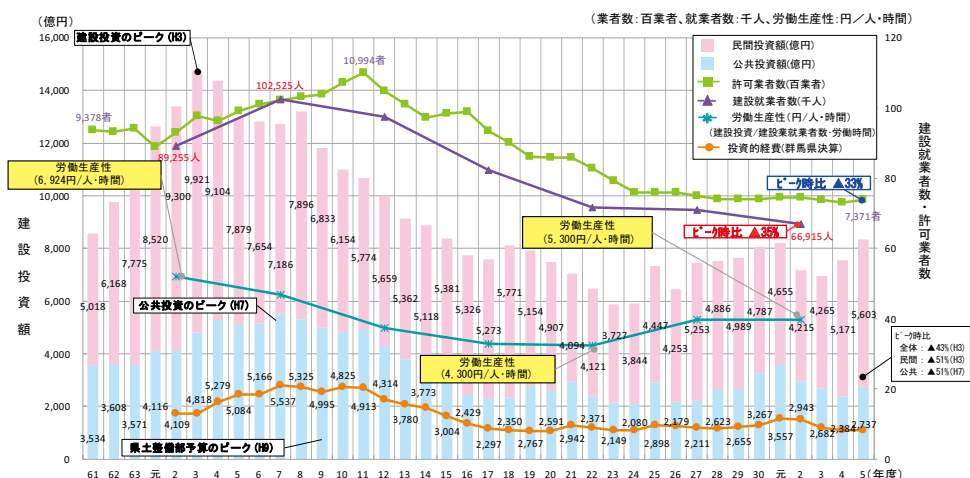
10年後の姿の実現に向けた課題

就業者の減少や高齢化が進行する建設産業

群馬県の建設投資額や建設業者数は、ピーク時から大幅に減少しており、建設業就業者数もピーク時（平成7年度国勢調査）から約35%減少しています。また、全国平均よりも、就業者の高齢化率が高く、若者（29歳以下）の割合が低くなっています。

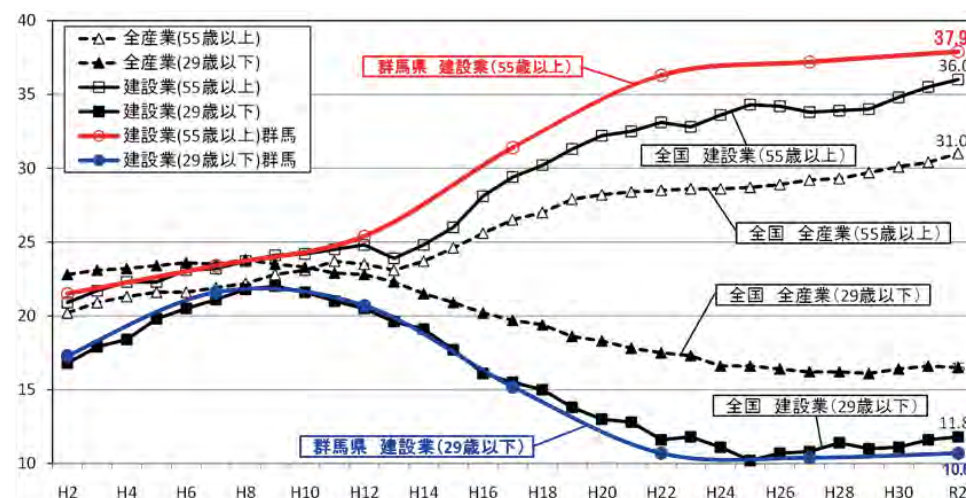
建設産業は、社会資本の整備と維持管理の担い手、災害時における地域の安全・安心

▼ 群馬県の建設投資、建設業者数、就業者数の推移 ▼



出典：国土交通省「建設総合統計年度報」（建設投資額）

▼ 建設業就業者の年齢構成の推移 ▼



出典：総務省「労働力調査」、国勢調査（群馬県数値）

建設産業界との連携と「災害対応組織力の維持」に向けた建設産業の持続的発展

災害対応組織力は、“災害発生時において、地域の実情を熟知した建設産業が、状況に応じて迅速かつ機動的に発揮する現場力”です。群馬県では、建設産業の関係団体と災害時における応急対策や測量・設計、情報収集等の業務に関する協定を締結し、大規模災害が発生した際にも迅速かつ確に対応できる連携体制を構築しています。災害時における応急対策業務に関する協定を締結している建設業者数は、わずかに減少傾向にあるものの、ほぼ水準を維持しています。「災害対応組織力」を維持するという観点から見ると、今後もこの水準を維持していくことが必要です。

将来に渡って災害対応組織力を維持していくためには、建設産業が持続的に発展していくことが必要です。建設産業の働き方改革や生産性向上を促進するとともに、建設産業の魅力を発信し、将来に渡って建設産業における担い手を確保・育成していくことが、災害対応組織力の維持につながります。

▼ 災害応急対策業務に関する細目協定締結業者数の推移 ▼



方策1-1 建設産業の働き方改革

取組1 長時間労働の是正

1 建設現場の週休2日促進

建設産業をより魅力あるものにし、将来の担い手となる若手技術者や女性技術者を確保するため、建設現場における週休2日を促進し、働く環境の改善に向けた取組を支援します。

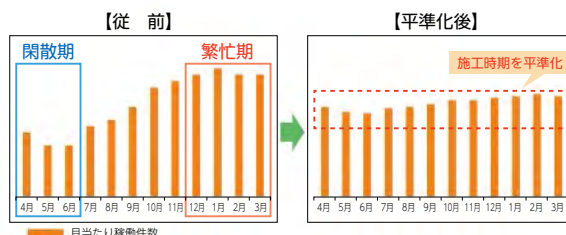
2 書類作成に関する業務負担の軽減

建設産業の長時間労働を是正するため、工事書類等の書類の簡素化・ペーパーレス化・統一化を推進し、書類作成に関する業務負担の軽減を図ります。

3 適正な工期設定

現場技術者や下請けの社員、技能労働者などを含めた建設工事に従事する全ての人たちが、工期に追われ時間外労働上限規制に抵触するような長時間労働を行うことがないよう、ひとつひとつの現場に即した適正な工期設定に取り組みます。

▼ 施工時期の平準化イメージ ▼



4 施工時期の平準化

年間を通じた計画的な工事の受注や人員配置、資機材調達など、建設業者の経営安定化に向けて、施工時期が平準化されるよう発注計画の策定・公表を行います。あわせて、「フレックス工期」や「余裕工期」の活用により、受注者の観点からの平準化を支援します。

5 ウィークリースタンスの徹底

業務環境の改善に向けた取組を定めた実施要領に基づき、「マンデー・ノーピリオド」、「ウェンズデー・ホーム」及び「フライデー・ノーリクエスト」などの取組を徹底します。

▼ (一社)群馬県建設業協会 ▼ 行動指針2024



▼ ウィークリースタンスの取組項目 ▼

マンデー・ノーピリオド	月曜日を依頼の期限日としない
ウェンズデー・ホーム	水曜日は定時の帰宅を心掛ける
フライデー・ノーリクエスト	金曜日（連休前）に依頼をしない
イブニング・ノーリクエスト	定時間際、定時後の依頼をしない
ランチタイム・オーバーファイブ・ノーミーティング	昼休み、定時間際及び定時後の打合せをしない
ワンデーレスポンス	質問・指示依頼があった場合、出来る限り「その日のうち」に回答する

取組2 現場の処遇改善

1 建設キャリアアップシステムの活用促進

技能者が能力や経験に応じた処遇を受けられる環境を整備し、将来に渡って建設業の担い手を確保するため、技能者の資格、社会保険加入状況、現場の就業履歴等を業界横断的に登録・蓄積するシステムの活用を促進します。

▼ キャリアアップシステムのイメージ ▼



▼ カードリーダー ▼



2 働きやすい環境の整備

女性環境パトロール等により働きやすい職場にしていこうと、現場の環境や建設産業のイメージ、仕事の進め方に変化をもたらす、性別・年齢を問わず意欲のある担い手の確保・育成につなげる現場環境の改善に取り組みます。

▼ 女性環境パトロール ▼



3 外国人材の活用

建設分野の深刻な人材不足を解消するため、今後増加が見込まれる外国人材受入促進に向けた取組を進めるとともに、企業向けセミナー等を実施し、企業の外国人材受入への理解促進を図っていきます。

▼ 制度・手続き紹介動画の配信 ▼



▼ 建設業取引適正化推進ポスター ▼



4 適正な労務費の確保と行き渡り

国土交通省による労務費の見積り実態や価格交渉の実情など、請負契約の実態を把握する建設Gメンの実地調査や書面調査を踏まえ、必要に応じて立入検査を実施するなど、建設工事の適正な施工の確保を図ります。

方策1-2 建設現場の生産性向上

取組1 ICT技術の活用促進

1 ICT活用工事による作業プロセスの効率化

公共工事における作業プロセスの効率化による建設現場の生産性向上を図るため、ICT技術の積極的な活用を促進します。測量から施工・検査に至る全てのプロセスにおいて、ICT技術を全面的に活用する「ICT活用工事」などに取り組みます。

▼ ICT活用工事のイメージ ▼



建設現場の生産性向上

出典：国土交通省資料を基に群馬県で作成

2 リモート型の働き方の転換

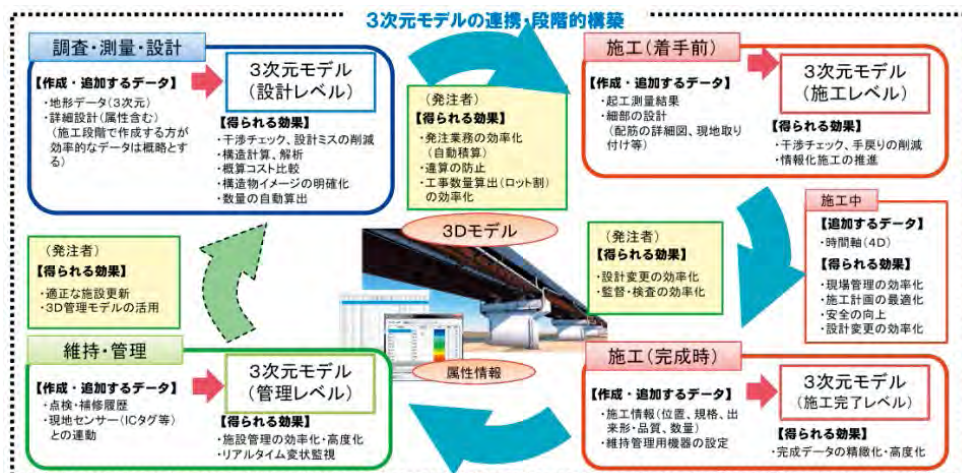
受発注者双方の業務効率化による更なる建設現場の生産性向上を図るため、現場で撮影した映像や音声をインターネットによりリアルタイムで配信し、遠隔で現場確認などを行う「建設現場のWeb監督」を促進します。



出典：国土交通省資料を基に群馬県で作成

3 CIMを活用した業務の効率化の取組

受発注者双方の業務効率化・高度化による建設現場の生産性向上を図るため、3次元モデルを活用し、社会資本の計画、調査、設計段階から整備、管理までを行うCIM (Construction Information Modeling, Management) の導入に向けた取組を進めます。



出典：国土交通省

方策1-3 建設産業の魅力の発信

取組1 効果的な広報の展開

1 インターンシッププログラムの実施

建設産業の仕事の魅力ややりがい伝えるため、建設系高校生・大学生・高専生等を対象とした学校実習や企業実習の取組、中学生を対象とした職場体験学習の取組を推進します。

▼ 中学生のインターンシップ ▼



職場体験学習（左官体験）

▼ 高校生のインターンシップ ▼



企業実習（測量実習）



学校実習（鉄筋・型枠実習）

5 建設産業の魅力を伝えるイベントの開催

将来を担う子どもたちや、その保護者にも興味を持ってもらうため、建設産業の仕事や役割だけでなく、その楽しさや魅力を知っていただくイベントや活動を展開します。

▼ 建設産業の魅力を伝えるイベント ▼



建設機械乗車体験



デリネーター作成ワークショップ



開通前の道路にお絵かき

2 インターネットやSNSを活用した就職情報の発信・マッチング支援

大学生や高校生等の県内建設関連企業への就職を支援するため、インターネットやSNSを活用して建設関連企業の就職情報を発信します。併せて、学生と企業が交流できる場を提供し、マッチングを支援します。

▼ 学生と企業のマッチング支援 ▼



▼ 女性技術者と女子高校生との意見交換会 ▼



3 女性技術者と女子高校生との意見交換会の開催

女性でも建設産業で活躍できることを実感してもらい、卒業後の進路として建設産業で働くことを選択するきっかけとなるよう、県内建設系学科等の女子高校生と建設産業で活躍している女性技術者との意見交換会を開催します。

4 建設産業の魅力を伝える動画の配信

将来を担う子どもたちや、その保護者にも興味を持ってもらうため、土木施設や建設現場で活躍する技術者を紹介する動画を配信し、建設産業の役割や魅力を広く伝えます。

▼ 建設産業の魅力を伝える動画 ▼



取組2 技術者の活躍・定着支援

1 若手技術者向け研修の実施

若手技術者の技術力向上を支援することでモチベーションの向上を図り、定着率の向上に繋げるため、若手技術者向け研修を実施します。

▼ 若手技術者向け研修 ▼



2 経営者向けセミナーや先輩技術者向け研修の実施

若手技術者が活躍・定着できる環境をつくるため、経営者等を対象とした職場環境改善セミナーや先輩技術者を対象としたコーチングスキル習得研修等を実施します。

▼ 経営者向けセミナー ▼

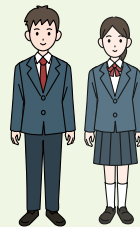


世代別の取組

新規入職促進



小学生
中学生



高校生
大学生

女性技術者と
女子高校生との
意見交換会



就職情報の発信・
マッチング支援



インターンシップ
プログラム



建設産業の魅力を伝える動画の配信



建設産業の魅力を伝える
イベントの開催



若手技術者

若手技術者向け
研修



建設現場の週休2日促進
書類作成に関する業務負担の軽減
適正な工期設定

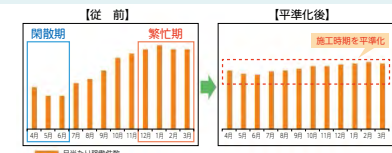


先輩技術者
経営者

経営者向けセミナー
先輩技術者向け研修



施工時期の平準化
ウィークリースタンスの実施



ICT技術の
活用促進



指標 指標と進捗状況の管理項目

▼方策の目的を達成するための指標

指標	現 状	目 標
[方策1] 災害時に迅速かつ機動的に対応可能な建設業者数 ※災害応急対策業務に関する細目協定を締結している建設業者	287業者 (R6年度末)	287業者の維持 (R16年度末)

進捗状況の管理項目	現 状	目 標
[A] 週休2日制現場の達成率	84% (R6年度末)	100% (R11年度末)
[B] ICT活用工事(発注者指定型)の実施率	95% (R6年度末)	100% (R9年度末)

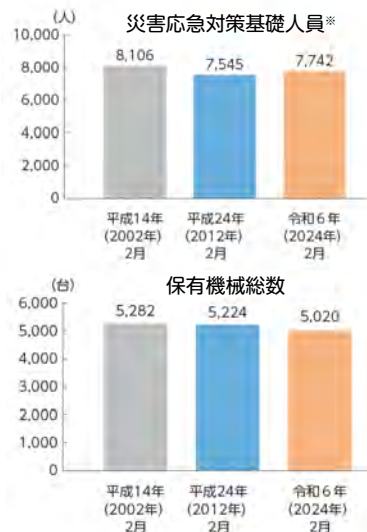


▶「災害対応組織力の維持」に向けた建設産業との連携

(一社)群馬県建設業協会は、令和6年3月に『災害時の応急対策・復旧を担う建設業の「災害対応組織力」の強化に向けて～能登半島地震を契機に～』を公表しました。これは、令和6年1月に発生した能登半島地震において、不眠不休で道路啓開等の災害対応に取り組む地域建設業の状況を受け、群馬県で大規模地震が発生した際にもこのような対応が可能なのか、人員や資機材は十分にあるのか、改めて検証する必要があるとの考えのもと、会員企業の人員や資機材の保有状況の実態調査を行うとともに、災害対応組織力の強化に向けて、提言を取りまとめたものです。

調査結果では、人員と保有機械の面から「災害対応組織力」について、群馬県全体として東日本大震災後の平成24年と同一レベルを概ね確保できており、今後もこれらの増強（少なくとも現状維持）を進める必要があることが示されています。

▼「災害対応組織力」に関する基礎調査結果



※運転手や作業員等、実際に災害時の対策業務を実施する人員（協力会社や下請の人員を含む）。

▼方策の取組体系と関連する管理項目

方策1-1 建設産業の働き方改革

取組1 長時間労働の是正

- 建設現場の週休2日促進
- 書類作成に関する業務負担の軽減
- 適正な工期設定
- 施工時期の平準化
- ウィークリースタンスの徹底

取組2 現場の処遇改善

- 建設キャリアアップシステムの活用促進
- 働きやすい環境の整備
- 外国人材の活用
- 適正な労務費の確保と行き渡り

方策1-2 建設現場の生産性向上

取組1 ICT技術の活用促進

- ICT活用工事による作業プロセスの効率化
- リモート型の働き方の転換
- CIMを活用した業務の効率化の取組

方策1-3 建設産業の魅力の発信

取組1 効果的な広報の展開

- インターンシッププログラムの実施
- インターネットやSNSを活用した就職情報の発信・マッチング支援
- 女性技術者と女子高生との意見交換会の開催
- 建設産業の魅力を伝える動画の配信
- 建設産業の魅力を伝えるイベントの開催

取組2 技術者の活躍・定着支援

- 若手技術者向け研修の実施
- 経営者向けセミナーや先輩技術者向け研修の実施